| 学校番号 | 1101 |
|---|---|

# 令和２年度　数学科

| 教科 | 数学科 | 科目 | 数学活用 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 数学活用（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，課題に対して，自ら考え，周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で，自分の考えを発表したり，議論したりする活動を行います。
・ノートを用意してください。授業中の板書や先生のコメントを書き留めて置いてください。
・家庭学習における課題は，定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組むこと。

## ２　学習の到達目標

数学と人間とのかかわりや数学の社会的有用性についての認識を深めるとともに,事象を数理的に考察する能力を養い，数学を積極的に活用する態度を育てる。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:数学的な見方や考え方 | c:数学的な技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 数学と人間とのかかわりや数学の社会的有用性に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。 | 事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学と人間とのかかわりや数学の社会的有用性を身に付けている。 | 数学と人間とのかかわりや数学の社会的有用性において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 | 数学と人間とのかかわりや数学の社会的有用性における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 確認テスト<br>単元テスト<br>ワークシート<br>レポート<br>観察等 | 確認テスト<br>単元テスト<br>ワークシート<br>レポート<br>観察等 | 確認テスト<br>単元テスト<br>ワークシート<br>観察等 | 確認テスト<br>単元テスト<br>ワークシート<br>レポート<br>観察等 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="6">前期</td><td rowspan="3">身の回りの数学</td><td>いろいろな場合の数学</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td rowspan="3">a:身近な事象において数学が活用されている場面を認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。<br>b:身近な事象において数学が活用されている場面における数学的な見方や考え方を身に付けている。<br>c:身近な事象において数学が活用されている場面における数学的技能を身に付けている。<br>d:身近な事象において数学が活用されている場面について体系的に理解し，知識を身に付けている。</td><td rowspan="9">確認テスト<br>単元テスト<br>定期テスト<br>レポート<br>観察等</td></tr>
<tr><td>身の回りの図形</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>数学的な表現のくふう</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">社会生活と数学</td><td>経済と数学</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a:社会生活において数学が活用されている場面を認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。<br>b:社会生活において数学が活用されている場面における数学的な見方や考え方を身に付けている。<br>c:社会生活において数学が活用されている場面における数学的技能を身に付けている。<br>d:社会生活において数学が活用されている場面について体系的に理解し，知識を身に付けている。</td></tr>
<tr><td>測定と数学</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>コンピュータと人間の活動</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期</td><td rowspan="2">数学の発展と人間の活動</td><td>数と人間</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="2">a:数学が人間の活動にかかわってつくられ発展してきたことやその方法を認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。</td></tr>
<tr><td>図形と人間</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 数学と文化 | ○ | | | ○ | b:数学が人間の活動にかかわってつくられ発展してきたことやその方法における数学的な見方や考え方を身に付けている。<br>c:数学が人間の活動にかかわってつくられ発展してきたことやその方法における数学的技能を身に付けている。<br>d:数学が人間の活動にかかわってつくられ発展してきたことやその方法について体系的に理解し，知識を身に付けている。 | 確認テスト<br>単元テスト<br>定期テスト<br>レポート<br>観察等 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。